

	ビール					
大分県精神保健福祉協会	アルコールセミナー、正しい知識の普及啓発	大分県断酒連合会	一般住民			
大分県精神保健福祉協会	パザール、3障害の団体(各種障害者団体)との交流を深めるとともに障害を正しく理解してもらおうための普及啓発	日本てかん協会大分県支部	一般住民			
宮崎県精神保健福祉連絡協議会	ニュースレターの発行	ひきこもり親の会桶の会	地域住民・関係機関			
宮崎県精神保健福祉連絡協議会	文化のつどい(作品の展示・当事者の意見発表)	若木の会(当事者の会)	当事者、家族、地域住民、医療・福祉関係者			
関与しているかについて不明：精神保健福祉センター						
青森県立精神保健福祉センター	作品展示、健康相談、精神障害者社会復帰施設の紹介、作業療法無料体験コーナー	青森市精神保健福祉親交会	当事者・地域住民			
鹿児島県精神保健福祉センター	セルフヘルプフォーラム、大学生への講話(セルフヘルプネット in 大学)	セルフヘルプネットかごしま(A、断酒会、NA、AC、SA)	地域住民、学生、行政関係			
大阪市こころの健康センター	ふれあい花壇事業	大阪市	地域住民			
関与しているかについて不明：精神保健福祉協会						
(社)長崎県精神保健福祉協会	ニュースレターの発行、研修会の開催	長崎県精神障害者団体連合会	関係機関・団体			

付表2. 企画段階から共通の目的やテーマで実施するように計画された研修の事例

センター・協会名	研修名	経緯等
精神保健福祉センター		
北海道立精神保健福祉センター	精神保健福祉推進員養成事業(ボランティア養成講座)	精神疾患の特性の正しい理解を含め、ボランティア活動に参加しやすい環境を整備することにより、精神障害者の社会復帰の促進を図る目的で平成7年から北海道の事業委託を受け、道内16地方精神保健協会と連携のうえ、精神障害者の福祉に理解と熱意を有するものを対象に医師・保健師・精神保健福祉士などの協力を得まして、ボランティア活動や精神疾患の概念等について養成講座を開催している。平成7年度から15年度までの開催状況は、開催地区は87カ所、講座回数は727回、受講修了者数は2650名であります。
宮城県精神保健福祉センター	精神障害者リハビリテーション研修会	作業所等における精神障害者の効果的なリハビリテーションを行うことを目的として県が作業療法士会に委託した事業と精神保健福祉センターが実施する関係者のスキルアップのための研修が、同様の目的であることから、テーマ・内容について共同で検討・実施したものの。
山形県精神保健福祉センター	市町村保健師精神保健福祉臨床研修	平成14年度から一部の業務が市町村に委譲され、相談業務等に従事する市町村保健師が専門的知識を習得し、更に医療機関を始めとする関係機関とのネットワークを構築するための総合的な研修が求められた。中心となった調整機関：国民健康保険団体連合会。
茨城県精神保健福祉センター	共同作業所新任指導員研修会	共同作業所の指導員は専門的な資格をとれず、また学習の機会も少ないことから、新任指導員向けの基礎的な内容の研修を取り組むこととなった。中心となった調整機関は茨城県精神障害者福祉会連合会。

<p>埼玉県立精神保健福祉センター</p>	<p>社会復帰施設職員研修</p>	<p>当センターでは開設時より、社会復帰施設職員（法定施設と作業所）を対象に講演及び相互学習を内容とした研修を開催し、障害・保健福祉施策に関する知識の共有や技術向上を目指してきた。平成7年度以降は、対象施設の増加と目的の違い等から法定施設の研修は埼玉県精神障害者社会復帰施設運営協議会と共催し、企画・運営を行ってもらい、会場提供、講師派遣等の事務を担当している。作業所職員に対しては、当センターが作業所連絡会の希望を聞き、研修の企画・開催を実施している。</p>
<p>千葉県精神保健福祉センター</p>	<p>小規模作業所研修会</p>	<p>精神障害者の地域での生活を支える資源の1つとして、作業所は家族会等の努力で運営されているが、さまざまな運営についての問題をかかえており、関係機関も含めて今後の運営をより充実させるために、S62 よ利権集会を開催している。以後 H6 年に千葉県共同作業所連絡協議会が発足し H14 からは千葉県共同作業所連絡協議会と精神保健福祉センターとの共催として行っている。(企画段階から共通の目的や課題をテーマにしたり、調整機関が存在したわけではないが、現在は研修テーマを決める役員会にもセンター職員が出席し、ともに企画運営に関わっているため記載した)</p>
<p>東京都立多摩総合精神保健福祉センター</p>	<p>「交流分析」</p>	<p>多摩地域の「地域生活支援センター—業務連絡会」を年3回、多摩総合精神保健福祉センター(当センター)が支援する形で開催している。地域生活支援センターだけでなく、研修会の実施を世話人会で決定。多摩地域の5圏域から1人ずつ世話人を選出。5人の世話人会で連絡調整を行い。当センターの援助係が助言した。</p>
<p>神奈川県精神保健福祉センター</p>	<p>ギャンブル依存症回復支援研修</p>	<p>ワンデーポータルは日本で唯一のギャンブル依存症回復施設であり、H15年度に「かながわボランティア活動推進基金21. 協働事業」に選出され、神奈川県との協働によりギャンブル依存症者や家族への回復支援を実施している。本年度は回復支援における民間施設と行政機関の協働をテーマとし、ギャンブ</p>

		<p>ルへのめり込みに対する回復支援方法を考える事を目的とし、行政・民間で構成される運営委員会が企画をたてた。尚、中心となった調査機関はワンデーポートである。</p>
福井県精神保健福祉センター	精神障害者社会復帰施設職員研修会	<p>精神保健福祉センターとしては、県内各施設が小規模作業所の頃から研修会を行っていた。H11年に福井県精神障害者社会復帰施設連絡協議会を立ち上げたが、当時は力量不足のため、当センターが事務局を持ち、研修内容について役員会で検討はしながら、研修会を開催していた。H14年度より県内各施設がすべて法人化され、安定したのを見計らい、事務局を会長のいる施設におき、当センターと共催という形で研修会を実施している。</p>
山梨県立精神保健福祉センター	地域・精神医療研究会	<p>精神保健福祉センターと精神保険協会(精神医療部門委員会:精神センター職員と委員で企画・実施)。県内の精神保健福祉に関わる関係者が一堂に会し講演会・事例検討会等を通して情報交換や知識の習得や研鑽を図る。</p>
長野県精神保健福祉センター	どの研修でも共通しているが、講師の選定や講演の内容など相談に与かる事が多い。	
静岡県精神保健福祉センター	平成16年度精神保健福祉関係職員研修会	<p>精神保健福祉センターが調整機関(組織育成)隣、県精神科デイケア研究協議会が発足。デイケア研究協議会と当センターおよび精神保健協会の共催にて、H16年5月県内病院職員、社会復帰施設職員等約200名を対象に、国立精研安西社会精神保健部長を講師として「精神障害者の回復と社会参加を促進するグループ活動の工夫」と題した講演会を行った。</p>

京都府精神保健福祉総合センタ —	こころの健康づくり大会・ 京都2004	主催者である京都精神保健福祉協会は、こころのケアや癒し、メンタルヘルス とその福祉に関心のある個人または団体が参加して1962年に設立された会 員組織の民間団体であり、理事会の決定により運営されている。本大会は、毎 年1回開催される本協会の主要事業であり、当センター所長は本協会の常任 理事として毎年実施する内容(テーマ、講師等)に深く関与してきている。
大阪府こころの健康総合センタ —	トヨノオピニオン定例研 修会①豊中市における 就労支援—現状と課題 —②就労支援について 大いに語ろう!	豊中市及び周辺市町野地域精神医療保険福祉活動の推進を図り、関係機 関・スタッフ等の資質の向上と親睦を図ることを目的として設立された「トヨノオ ピニオン」において、年3回、精神医療福祉関係者への研修を行っている。こ の会は、豊中市及び周辺市町村にある精神医療保険福祉に関する関係機関・ 組織の所属する職員等で構成されており、研修会のテーマについては、研修 会終了時に実施するアンケート調査の結果等を参考に、事務局会議で検討 されている。
兵庫県立精神保健福祉センター	就労支援研修会	兵庫県精神保健福祉センターが中心となり、身の事務局をとめる兵庫県精 神保健職親会と協議し神戸市こころの健康センターに呼びかけて医療機関作 業所、社会復帰施設、市町、健康福祉事務所(保健所)の職員等70名で研修 を行った。
和歌山県精神保健福祉センター	H16年度和歌山県障害 者ケアマネージメント従 事者養成研修	国の指導(三障害合同の取り組み)県障害福祉課と合同
岡山県精神保健福祉センター	精神障害者地域生活支 援センター	社協が権利擁護事業をするにあたり精神も対象となることから、職員の資質向 上と連携を計るためのその研修を行うに当たり、MHCも企画立案の段階から 委員として参加することとなった。

広島県立総合精神保健福祉センター	地域精神保健研修会 シンポジウム「これからの地域精神保健福祉について」～支援の実態と課題～ やまぐちハートフォーラム	改革の流れの中で、関係者が認識を深め、共通認識を持ち、今後の活動を考 える場をつくった。精神保健福祉協会が中心となり、企画段階で県のセンター がかかわり、市センター、病院協会へ協力を求めた
山口県精神保健福祉センター	(別添資料参照)	
徳島県精神保健福祉センター	背通信保健福祉研修事 業「福祉関係者基礎研修 会」	実施主体：徳島県社会福祉協議会 参加対象：民生委員・児童委員・社会福 祉協議会職員・市町村職員・ホームヘルパー研修修了者及び現任者など。本 事業は全国社会福祉協議会「社会福祉協議会活動振興事業」の助成を受け て実施。実行委員会から企画・立案に参加す。「精神障害者の地域生活支援 に関わりが期待されている福祉と関係者を対象に、当事者・家族の抱える問 題についてサービスティム提供に関わる現場担当者からの活動報告」などシンポジ ウムも含め県内2会場で実施。
香川県精神保健福祉センター	精神保健福祉基礎講座	H14度から精神保健福祉業務が一部市町村へ委譲されたこと。居宅生活支 援自供の開始。入院医療中心から地域生活中心へ施策が転換していること等 から精神保健福祉の推進を図ることを目的に県社協が実施する場合は、全国 社会福祉協議会から助成されることになり、一緒に企画するようになった。調 整機関、県庁の本課、精神保健福祉会香川支部、精神保健ボランティア、県 社会福祉協議会。
高知県立精神保健福祉センター	社会復帰施設等従事者 研修会(地域改革推進フ ォーラム)	センター・家族会・精神障害者地域生活・支援施設連絡会が共同。地域精神 保健福祉を充実させるために研修会を企画・実施している。常時より情報交換 し連携している

福岡県精神保健福祉センター	夏期講座・冬期講座	夏期講座は思春期精神保健をテーマに、冬期講座は成人のメンタルヘルスをテーマに開催している。我が国では問題を抱える子供達への関わりがクローズアップされ、児童虐待にまつわる事件が全国各地で発生しており、自殺者の増加やうつの問題についての対策が課題となっている。そのため、夏期講座は虐待をテーマに「居場所を探して～親と子、それぞれの再生」、冬期講座は「死と向きあう」ことのテーマに、こころの危機的な時代をいかに乗り越えていくかを今年度の目的とした。主催は福岡県精神保健福祉協会と福岡県精神保健福祉センター。
佐賀県精神保健福祉センター	心の健康づくりシンポジウム テーマ「心の健康を保つための職場と家庭の役割」	H14年度自殺対策協議会を設立。その中で労働者の自殺が問題となった。労働者のメンタルヘルスが課題であるとの共通認識をもち、委員に労働局や坂業保健推進センターからの参加を得たことから、互いの情報交換を行い、共同での研修会開催に至る。調整機関として精神保健福祉センター・労働局安全基準部が中心となった。
沖縄県立総合精神保健福祉センター	思春期関連講演会	毎年精神保健福祉センターが主催して思春期関連講演会を実施し、昨年は今年に斎藤環氏を講師に「社会的ひきこもり」の講演を予定している。
札幌市精神保健福祉センター	精神保健研修	市社会福祉協議会が全国社協の補助を受けて精神保健研修を実施するに当たり、実績のある精神保健福祉センターに相談。企画から実施まで共同で運営した。
川崎市精神保健福祉センター	川崎市精神障害者地域生活推進連合会(作業所等)・グループホーム連絡会交流事業・シンポジウムの開催「こころの病と共に生きる暮らし安	平成9年より当事者中心の意見交換の場をつくり、それをききあうことで作業所・グループホーム職員の資質の向上を図ってきたが、当事者や関係者だけでなく一般市民への理解を得るために、今年度より啓発活動にも重点を置くようになった。

	地域を切り開こう	
<p>京都市こころの健康増進センター</p> <p>一</p>	<p>「精神保健福祉協会」実施主体分について。①精神保健懇話会：退院促進～地域で生活していくために～②こころの健康づくり大会2004：職場の中のメンタルヘルス③こころのケア講演会：虐待の背景（予定）</p>	<p>常務理事（府・市の精神保健福祉センター長）、参与（京都精神保健福祉士協会会長）、事務局（事務2名）で企画。現在、メンタルヘルスに関して今日的課題とされることを中心に、退院促進・中高年の自殺問題・虐待をベースにテーマを考えた。</p>
精神保健福祉協会		
<p>北海道精神保健協会</p>	<p>2004年度北海道精神障害者社会復帰施設協議会研修会及び第7回精神保健福祉ボランティア全道交流会</p>	<p>両団体が、「精神障害者の理解と偏見克服」をねらいとして、「つながる手、つながる心」ということを共通テーマで、精神保健担当専門職及びボランティアを対象に公開講座を開催した。講演内容①「心の扉を開くー偏見克服活動の現在」②「ワガママな障害者の遺したものーこんな夜更けにバナナかよの世界」一、上記を行い、盛況であった。</p>
<p>(社)宮城県精神保健福祉協会</p>	<p>グループホーム、ライフサポーター（世話人）等研修会</p>	<p>グループホームが増加するにつれ、その運営や世話人等の役割・支援のあり方など、又、精神障害に関する知識を学ぶため、更にお互いの交流・意見交換などを行い、より良いグループホームの運営を目指す。精神保健福祉センター</p>

		の協力を得て、当協会の事業として年1回開催。
山形県精神保健福祉協会	事例研究発表会：山形県精神保健福祉協会主催「精神科看護研修会」 精神保健福祉研修会	例年、各会員及び関係者の資質向上を図るため、病院・施設・市町村等職域毎5名から事例研究の発表を行い、研修としている。
(財)栃木県精神衛生協会	「精神科看護研修会」 精神保健福祉研修会	財団法人栃木県精神衛生協会が会員病院(県立1、民間21、総合病院4、大学病院3)職員を対象として年1回実施している。
新潟県精神保健福祉協会	定期総会開催時の記念講演会	県内7ブロック(7支部)輪番で定期総会を行っている(年1回の県総会)。各支部毎に協会に加入している機関・団体・個人が支部事務局の下で普及啓発活動を行っている。県の事務局は精神保健福祉センターに置かれており、各支部の事務局は圏域の保健所におかれ、市町村・精神病院・社会復帰施設・地域家族会などが加入、時々のトピックを取り入れて様々な活動を展開している。
福井県精神保健福祉協会	精神保健福祉講演会	精神科医によるストレス対処セミナー。日精看支部との共催。
山梨県精神保健協会	地域精神医療研究会	精神保健協会が企画・実施している。精神保険協会は県内の医療・保健・福祉・教育・司法等様々な分野からの会員で構成されており、各分野から企画のための委員が選出され、年間10回の研究会を実施している。
長野県精神保健福祉協議会	市民フォーラム「自殺の防止と遺族ケア」	心の健康づくりを推進する上で、社会問題となっている自殺の増加の背景と予防を、市民へ啓発していく優先課題として、精神保健福祉センターが主体となつて、企画。併せて自殺者の遺族へのケアの必要性について、広く認識してもらうことも、フォーラムの企画ポイントとして取り上げた。
静岡県精神保健協会	精神保健福祉従事者研修会	直接従事している職員の質の向上を目的に静岡県精神保健福祉センターが中心となり、毎年開催している。

(社)大阪精神保健福祉協議会	トヨノオピニオン定例研修会①豊中市における就労支援一現状と課題 一、②就労支援についておおいに語ろう!	豊中および周辺市町の地域精神医療保健福祉活動の推進を図り、関係機関・スタッフ等の資質の向上と親睦を図ることを目的として設立された「トヨノオピニオン」において、年に3回、精神医療保健福祉関係者等への研修を行っている。この会は、豊中市および周辺市町にある精神医療保健福祉に関する関係機関・組織に所属する職員等で構成されており、研修会のテーマについては、研修会終了時に実施するアンケート調査の結果等を参考に、事務局会議で検討されている。
兵庫県精神保健福祉協会	就労支援研修会	兵庫県精神保健福祉センターが中心となり、身の事務局をとめる兵庫県精神保健職親会と協議し神戸市こころの健康センターに呼びかけて医療機関作業所、社会復帰施設、市町、健康福祉事務所(保健所)の職員等70名で研修を行った。
和歌山県精神保健福祉協会	H16年度和歌山県障害者ケアマネージメント従事者養成研修	国の指導(三障害合同の取り組み)県障害福祉課と合同
(社)岡山県精神保健福祉協会	1. 社会復帰施設職員等研修、2. 精神障害者リハビリステーションセミナー	精神保健福祉協会の一委員会として各職務からなる推進委員会があり、その委員会の中の各テーマ毎の実行委員が中心となって企画し、当日の運営まで一緒に行う。
福岡県精神保健福祉協会	①精神障害者ホームヘルパー養成特別研修。 ②精神障害者ホームヘルパー養成特別研修修了者のフォローアップ研修。	①については、福岡県の委託業務。②については、①修了者のアンケートに基づき協会独自で実施。

<p>(財)沖縄県精神保健福祉協会</p>	<p>第35回精神保健福祉普及月間(11月)</p>	<p>1)大会(11月4日)①特別講演「沖縄の精神医療の回顧と未来の展望」②公開座談会「つなごうよ、こころの架け橋を」2)精神科看護研修会(11月19日) ①音楽を通して見えるもの(講演)②赤ちゃんから始める成人病予防対策(講演)3)思春期関連講演会(精神保健福祉センター主催)テーマ:ひきこもりー理解と支援ー(講演)</p>
-----------------------	----------------------------	---

付表3. 周辺住民に対して積極的に情報発信を進めた取組を行なっている事例

	内容	実施方法
関与している：精神保健福祉センター		
北海道立精神保健福祉センター	地域住民並びに関係者を対象とした精神保健福祉思想の普及啓発	道内地方協会持ち回りで、広い圏域において「精神保健北海道大会」を開催し、精神保健の啓発促進を図っている
青森県立精神保健福祉センター	総合福祉展	催事場等で精神保健福祉に関する啓発を行う
宮城県精神保健福祉センター	宮城県精神保健福祉大会	県民を対象とした講演会、シンポジウム、作品販売など(作業所による)
埼玉県立精神保健福祉センター	料理教室、バザー等の開催	ポランティア、支援者等と協働で行っている(調査を実施される場合は、事前に当センターへ問い合わせをお願いします)。
埼玉県立精神保健福祉センター	益踊り大会	年1回当センターと共催で地区住民・病院の入通院患者及び当センター社会復帰部利用者を対象に実施している(調査を実施される場合は、事前に当センターへ問い合わせをお願いします)
千葉県精神保健福祉センター	役員会の開催	月1回役員会のほか、職員研修会、市民向けフォーラムも予定
東京都立多摩総合精神保健福祉センター	地域住民を対象とした普及啓発の「市民講座」(講演会)	市報で広報・案内をして参加者を募る。最近の2年間は、「うつ病の早期発見と自殺予防」をテーマに実施。

東京都立多摩総合精神保健福祉センター	精神保健福祉ボランティア養成講座の開催、普及啓発の講演会実施。	市報にて広報・募集。八王子の方は講座修了者がボランティア活動を実施中。(八王子は実施後3年になる)日野市はH16年度から実施。
神奈川県精神保健福祉センター	一般住民を対象とした、精神保健福祉セミナー(全6回)。うち1回は公開フォーラム	セミナー内容(当事者、家族、精神科医、医療・福祉関係者の話)、公開フォーラム(精神科医の話、一般住民・当事者・家族・社会復帰施設との交流等)
神奈川県精神保健福祉センター	一般住民・当事者・家族・関係者を対象とした講演会、パザ一、施設紹介、模擬店、相談会	精神障害者が地域の中で正しく理解され、共に生き、共に支え合う社会を目指すために実施。
新潟県精神保健福祉センター	一般住民を対象とした普及啓発	各支部単位で講演会等を実施(県内7支部)
富山県心の健康センター	県民のこころの日、講演会、相談会	こころの健康についての講義、相談
石川県こころの健康センター	一般県民を対象とした普及啓発	精神保健講演会、協会研究会(シンポジウム)、家族会と病院長との懇談会
長野県精神保健福祉センター	自殺予防をテーマに「倉嶋厚氏講演」	市民向けに講演を企画
長野県精神保健福祉センター	自殺予防をテーマにした「こころの健康づくり」をテーマにしたシンポジウム	市民向けに講演とシンポジウムを企画

岐阜県精神保健福祉センター	心の健康フェスティバル	講演会とバザー(作業所の製品等の販売)
静岡県精神保健福祉センター	地域住民への普及啓発	地域生活支援センターを会場とした、地域住民向けの講演会を毎年実施(H16年度で第3回)
京都府精神保健福祉総合センター	平成16年度精神保健福祉基礎研修	講義およびシンポジウムを通して精神障害者の現状を理解するとともに、その支援のあり方を学ぶ。
大阪府こころの健康総合センター	一般住民を対象に、地域の公民館で実施されていた普及啓発講座	人権学習プログラムによる啓蒙講座と施設見学による体験学習を組合わせた児津市方法のため、受講者に継続した支援活動に広がった取り組み
大阪府こころの健康総合センター	地域の小学校関係者・保護者・児童を対象にした理解促進事業	地域野関係機関と協力しながら、もちつき大会、パネル展示、交流講座等の身近な地域と交流事業を開催した取り組み
岡山県精神保健福祉センター	市民を対象とした普及啓発	当事者の体験発表、講演、パネル展示、作業所バザー等
岡山県精神保健福祉センター	精神障害者家族会が行う講演会・バザー・当事者による劇による普及啓発	市内のあらゆる組織に呼びかけ、市長から保育園児まで集う会として定着。実行委員会形式、参加者1000人(対人口6万)
広島県立総合精神保健福祉センター	こころいきいきフェスタ	県内2ヶ所(東部・西部)の地域生活支援センターにおいて普及啓発をおこなった

	精神保健知識の普及と及び啓蒙	目で見える精神保健・精神保健講演会・機関誌「めんたるくるす」発行・パンフレット作成配布し県民の心の健康の保持増進と精神しよう会社の福寿の向上を図る
徳島県精神保健福祉センター	地域住民を対象とした普及啓発と交流	フリーマーケット・チャリティコンサート等のイベント
愛媛県精神保健福祉センター	地域住民を対象とした普及啓発と交流	講演会・文化祭・フリーマーケット
福岡県精神保健福祉センター	地域生活支援センター活動を通じた普及啓発	地域に開かれた施設を目指し、地域住民が入浴や食事に訪れるための体制を整えている。
佐賀県精神保健福祉センター	民生委員等福祉関係者・ボランティアを中心に普及啓蒙をはかる	基調講演で病気の理解を図りあわせて当事者・家族から生活実態を支援者から就労の実態を聞くことより支援の在り方を考えてもらう
宮崎県精神保健福祉センター	精神保健福祉関係者・一般県民を対象とした普及啓発	年1回の精神保健福祉大会
宮崎県精神保健福祉センター	当事者・家族・精神保健福祉関係者・地域住民	フォーラム(年1回)
沖縄県立総合精神保健福祉センター	うつ病の市町村研修	県内4箇所で講演会・グループワークを実施
沖縄県立総合精神保健福祉センター	うつ病講演会	那覇市内で一般市民を対象に行ったばんに1回テーマにそって講演会、ディスカッションを開催
北九州市精神保健福祉センター	北九州市民精神保健福祉の集い	

関与している：精神保健福祉協会

北海道精神保健協会	地域でのイベント開催を通じた普及啓発。	講演会、収穫祭等の開催による地域住民との触れ合いを図っている。
(社)宮城県精神保健福祉協会	地域講演会の開催(県内5~7ヶ所)	地域講演会開催の有無を問い合わせ、県内の市町村5~7ヶ所を選び、開催の補助金や講師の派遣を行う。対象は民生委員であったり、保健推進員であったり、市民であったりする。
茨城県精神保健協会	心の健康づくり地域啓発・推進事業	茨城県から委託を受け、(平成16年度は)県内13市町村からの実施要望にもとづき、茨城県・茨城県精神保険協会・地元市町村との共催により、地元住民を対象に心の健康についての講演会等を開催している。
(社)富山県精神保健福祉協会	県民こころの日講演会、相談会	こころの健康についての講演と医師等による相談会の通じ、精神障害について理解してもらおう。
石川県精神保健福祉協会	一般県民を対象とした普及啓発	精神保健講演会、協会研究会(シンポジウム)、家族会と病院長との懇談会
滋賀県精神保健福祉協会	一般県民を対象とした普及啓発	イベントで作業所などのパネル展示を行い、一般住民の理解を得る。
(社)大阪精神保健福祉協議会	公民館で実施する普及啓発講座	啓発講座、施設見学他

(社)岡山県精神保健福祉協会	精神障害者家族の会が行う講演会、バザー当事者による劇等による普及啓発	市内のあらゆる組織に呼びかけ市長～保育園児までが集う会として定着。参加者約1000人(人口6万人)実行委員会形式による。
(社)岡山県精神保健福祉協会	市民を対象とした普及啓発	上記考える会で実行委員会形式にて、講演・体験発表・作業所作品等バザーを行い、心の健康について考え、当事者話を聞くことにより精神障害者への理解を深める。
徳島県精神保健福祉協会	精神保健知識の普及及び啓蒙	目で見える精神保健展・精神保健講演会・研修会・パンフレット発行(県民の心の健康の保持増進と精神障害者の福祉の向上を図る)
(社)熊本県精神保健福祉協会	精神障害者作品展示及びチャリティバザール	毎年11月の第2日曜日、県内精神科病院・診療所・社会復帰施設・共同作業所・家族会等の参加を得て、熊本市上通りアーケード街で精神障害者の作品展示と販売を行い、啓発用チラシ等を配布する。
宮崎県精神保健福祉連絡協議会	精神保健福祉関係者・一般県民を対象とした普及啓発	精神保健福祉大会(年1回開催)
(財)沖縄県精神保健福祉協会	精神保健に関する普及啓発	講演、公開座談会

関与していない：精神保健福祉センター

	精神障害者デイ・ケア事業に対する 周辺住民の理解・促進	精神障害者デイ・ケア事業（講演会、セ ンター祭の開催・招待）並びに体育館、 付帯施設の開放・利用により、周辺住民 との触れ合いの中で、障害者のリハビリ テーションについて正しく理解を得なが ら地域活動を図っている。
北海道立精神保健福祉センター	地域との交流を重視した様々な活動	作業所、フリースクール、グループホー ムを運営しつつ地域でのイベント、交流 会、ファックスやメールでの通信等
宮城県精神保健福祉センター	心いきいき芸術・文化祭	一般県民を対象に、障害者が作成した 美術品の展示・講演会等を実施
秋田県精神保健福祉センター	チャリティコンサート	障害への偏見をなくし、相互理解を深め ることを目的とし開催
福島県精神保健福祉センター	小学校との交流事業	当事者と小学生達が体験農業や収穫祭 などを共同で行う事により、相互理解を 深め、児童を通して地域での障害者理 解を進めている
茨城県精神保健福祉センター	「心のネットワークセミナー」地域住 民との啓発交流活動	今年で13回目の企画。通常理事長によ る仏教講話と利用者による影絵の公演 を行い、その他に毎年異なる企画が盛り 込まれる。今年には精神科医による講演と 利用者によるパネルディスカッション（テ ーマ「偏見をなくすには」）を実施。

茨城県精神保健福祉センター	地域交流啓発事業「風をはこぶフォーラム」	幻聴を科学することをテーマに、筑波大学朝田教授やヒアリングヴオイスズ研究会の佐藤 和喜雄氏の講演・フォーラムを実施。
栃木県精神保健福祉センター	精神障害に対する普及啓発活動	宇都宮地区精神障害者援護会(家族者)と宇都宮市内作業所、当事者、職員が街頭でパンフレット配布(年1回、約1000枚)。
千葉県精神保健福祉センター	フォーラムや講座の開催	
東京都立精神保健福祉センター	社会参加のさまざまなかたち	
東京都立精神保健福祉センター	ダイエットと過食の精神医学	公開市民講座
石川県こころの健康センター	なごみ祭(地域住民、ボランティア、家族)地域への普及啓発	実行委員会での開催、施設の設置が住民参加型で立ち上がっている
静岡県精神保健福祉センター	普及啓発、ボランティア養成など	
愛知県精神保健福祉センター	民生委員・児童委員・関係機関を対象としたひきこもりの講演会	ひきこもりについて、民生委員等関係者に理解を広めることにより、居場所づくりなど地域支援につなげていく。
愛知県精神保健福祉センター	地域住民・自治会などとの交流	自治会主催の体育祭、ふれあい健康歩け歩け大会に参加。地域、関係機関へ機関誌で活動のPR。

佐賀県精神保健福祉センター	地域住民への普及啓発	地区住民とのグランドゴルフ大会や地区の祭りへの参加により当事者との交流を図り、支援につなげている
鹿児島県精神保健福祉センター	地域住民への啓発活動	チャリティコンサート、バザー
鹿児島県精神保健福祉センター	地域住民との交流を通じた啓発活動	音楽を通しての地域交流、リサイクリン ヨップ
札幌市精神保健福祉センター	町内会との共同	町内会の運営委員に入ってもらっている。起用道の行事・音楽会等開催
広島市精神保健福祉センター	駅前オープンカフェを設ける。	JR駅前にオープンカフェを設け、喫茶と自主製品の販売も行っている。
北九州市精神保健福祉センター	「こころの相談室」の設置	精神科病院のある八幡西区三ヶ森地区に「こころの相談室(看護士常駐)」を設置し、身近なところで相談できる体制をつくることにより、精神医療に対するの理解を深めてもらう啓発を行っている。
関与していない:精神保健福祉協会		
北海道精神保健協会	当事者が自らの経験を語り、普及啓発に資するもの。	「幻覚妄想大会」を開催、当事者が自らの病気の体験をオープンにし、偏見の解消、病気の理解を広めている。
(社)埼玉県精神保健福祉協会	料理教室、バザー等の開催	ボランティア支援者等と協働で行っている